

平成27年度 第3回岡山県和牛改良委員会 議事概要

1 日 時 平成28年2月2日（火）13：00～

2 場 所 全農岡山県本部総合家畜市場会議室（真庭市）

3 出席者 委員 11名
事務局 3名

4 協議事項

(1) 後代検定終了牛の措置について・・・資料1

「藤沢茂」

- ・後代検定で13頭が終了し、平均枝肉重量499.3kg、ロース芯面積72.6cm²、BMS平均で7.5。
- ・事業団の協力検定（13頭）を合わせた成績では、平均枝肉重量502.3kg、ロース芯面積69.1cm²、BMS平均で7.5。
- ・第42回育種価でロース芯面積1位、BMS1位であり、数値でも岡山県の過去最高。枝肉重量も十分で、血統的にも岡山50%であり、基幹種雄牛に推薦され、了承された。
- ・(一社)家畜改良事業団との協力検定に伴い、県内の需要に不足が生じない範囲で事業団から県外に精液を供給する。

「千代玉」

- ・「千代玉」は17頭全頭枝肉成績判明。いずれの形質でも現在の基幹種雄牛に達していない。
- ・本牛は、「第1たま」を始祖牛とする、「たま系」から造成された種雄牛で、第11回全共の第4区 系統雌牛群の産子を出品する予定であるが、精液在庫4,000本を確保した上で、淘汰することとなった。

「福中平」

- ・研究所として繋用不適となり、廃用する。

(2) 岡山和牛改良増殖対策要綱の改正について・・・資料2

事務局より案を提示し、異議なく承認された。

(3) 第11回全国和牛能力共進会について

種牛の部4区、6区、7区について分娩状況等について報告し、肉牛の部7区、8区、9区について、候補牛の状況について報告された。